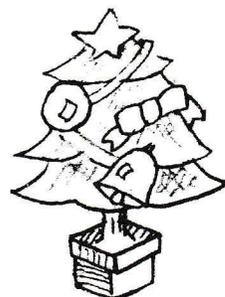


発行人  
八千代市社会福祉協議会  
高津5・6街区支会  
支会長 多田 久尚



「生活支援員」養成研修会に参加

今年10月よりスタートした地域福祉権利擁護事業の先端で活動する「生活支援員養成研修会」が11月9日開催され、5・6街区支会からも5名の候補者が参加しました。

地域福祉権利擁護事業とは、高齢や知的障害・精神障害等により判断能力の十分でない方が自立した地域生活を送れるよう、千葉県社会福祉協議会がそれに必要な支援を行うものです。利用者は、千葉県社会福祉協議会と契約して、①福祉サービスの利用手続き・援助・代行、②財産管理・保全等々のサービスを受けることができます。

そして、八千代市社会福祉協議会が窓口となってサービスを実施し、利用者とのパイプ役を努めるのが「生活支援員」です。「生活支援員」は、利用者の方々が安心してこの事業を利用できるよう、基本的な業務と必要な知識を習得するための研修を重ねていきます。

この事業についての  
〈相談・問い合わせ先〉

八千代市社会福祉協議会 地域振興課  
電話 047-483-3022  
FAX 047-483-3083



†恒例になった ふれあいプラザ お楽しみ会†



10月27日(水)、ふれあいプラザにてお楽しみ会が催されました。68歳以上の方の出席者32名、ボランティア21名、社福の周郷会長、渡部さんにも出席頂き総勢63名となりました。お弁当を一緒に楽しみ、芸達者な方の踊り、詩吟などを披露していただきました。これからも、大勢の方の参加を期待します。それから日舞の

方々の踊り、皆で合唱と楽しい時を過ごしました。一番盛況だったのは、ボランティアによる「バカ面踊り」でした。付け焼き刃の練習でしたが、会場は笑いの渦で一段と盛り上がりました。「とてもよかった。来年も楽しみです。」と聞き、来年も趣向を凝らしたものにしたいと思っております。

(金 睦子)

♡共に生きる♡

団地にすんで27年、長い間会社人間であった主婦でもある私が仕事を続けることの難しさを痛感しつつ、また家族に感謝の気持ちでいっぱいです。主人も仕事にかまけて病気に気づかず、その後入退院を繰り返しましたが、今は二人静かに生活を送っています。人は一人では生きていけません。そんな中で、支会活動のあることを知り、案外知らない方が多いのでは、と思いました。定年後は、何かボランティア活動とを考えておりましたが、今は主人の専属ナースを勤めています。

2000年4月の介護保険も間近にせまり、大変な時を迎えます。一人一人の考えかたもちがうのでむずかしい問題でもありますが、気兼ねなく相談できる支会が、窓口になればと期待します。それぞれが持っている優しい思いやりを出し合って、楽しく安心して住める団地であってほしいと願っています。何かあったらすぐにかけてくれる人がいる、そう思うと老後も「まんざらでもないか」などと思うこの頃です。

(塩谷 フク子)

編集後記

今になって紅葉が寒さと共にやってきました。急な寒さにお気をつけください。(白)